

もう皆さんも、知らないうちに
希少糖のおいしさを味わっているかもしれません。
スイーツに、ドリンクに、お惣菜に、
身近な食品に希少糖が使われています。
希少糖マークを目印に、
お店でチェックしてみてくださいね。

希少糖を使った
商品の情報はこちらへGO



おいしいものには入ってる、
あなたに身近な希少糖



香川県商工労働部産業政策課 課長
海津洋さん

地域の強みを活かした成長産業へ。「かがわ希少糖ホワイトバレー」を推進

香川県では、香川大学が世界に先駆けて研究開発を進めてきた「希少糖」を活用して、成長産業を育てるため、「かがわ希少糖ホワイトバレー」プロジェクトに取り組んでいます。香川大学などでの研究の強化による「知の拠点（＝研究開発拠点）」の形成、「希少糖産業」の創出、「香川の希少糖」のブランドの確立により、希少糖産業の実用化が図られ、希少糖産業が成長していくよう、努めています。

希少糖は、食品や医薬、農業など幅広い分野で多くの可能性を秘めていることから、香川の経済に活力と付加価値を生み出すものと大いに期待しています。これまでも、希少糖含有シロップを製造する工場が香川県（宇多津町）に建設され、このシロップを使ったスイーツやドリンク、お惣菜が県内外の事業者から数多く販売されたり、飲食店のメニューに使われたりしています。民間・大学・行政が連携した取組みが、工場誘致をもたらし、数多く商品化されることは珍しく、これは3者の連携がうまく機能したからであると考えています。

私自身、希少糖を使った商品が市場にまだ出ていなかった約10年前から携っており、思いを持って、希少糖に関する仕事に取り組んでいます。

今後も、香川大学の希少糖の研究成果が多くの人の生活を豊かにし、また香川県経済の活性化につながるよう、「かがわ希少糖ホワイトバレー」プロジェクトを進めてまいります。



一般社団法人 希少糖普及協会
前・代表理事会長
近藤浩二さん(右)
現・代表理事会長
早川茂さん(左)

希少糖の正しい知識を伝えおいしく役立つ希少糖商品を普及

希少糖普及協会は平成24年に発足しました。希少糖を使った商品を生産・販売する企業が増えてくると同時に、「砂糖に比べてなぜ高価なの?」「そもそも希少糖とは?」という疑問も、世の中に増えるようになりました。研究から健康により特徴があることはわかっているのですが、一般食品ではそれを謳うことはできません。そこで第三者機関を作って希少糖の正しい知識を消費者に知ってもらおうと生まれたのが、私たち希少糖普及協会です。希少糖を世の中に広めていくために、さまざまな展示会でPRしたり、講演会を通して希少糖の優れた性質や健康との関わりをお話しています。2017年に11月10日を「希少糖の日」と制定し、毎年11月には「菓子まつり」などのイベントも開催しています。

香川県や香川大学との連携も盛んで、県の希少糖戦略会議では私たちが部会に所属しています。香川大学では私たちが希少糖講座で講義をしますので、香川大学の学生さんとお会いする機会が結構あるんですよ。希少糖という今まで世の中に知られていなかったものを普及させるには、ブランドを守るという面も大切ですよ。商品の甘味料中の希少糖の含有量を希少糖マークを作り、消費者に分かりやすくその価値を伝えるということを行っています。この誌面で紹介しきれないほどの商品がありますので、ぜひ皆さんも身近な希少糖商品を見つけてみてください。